

科学研究費補助金研究成果報告書

平成 21 年 4 月 28 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007－2008

課題番号：19720081

研究課題名（和文） 民国初期における社会小説の研究

研究課題名（英文） Study on Social Novels of the Early Republican Period

研究代表者 神谷 まり子（KAMIYA MARIKO）

国士舘大学政経学部・講師

研究者番号：90407198

研究成果の概要：

民国初期（1910年代から20年代）にかけて上海の新聞メディアを中心に大流行した社会小説について、画報や小新聞などを含めた娯楽メディアとの関連、および当時巷のスクヤンダルを題材とした黒幕小説との関連から研究を行った。当時の通俗小説や作家たちを作品という狭い枠にとどまることなく、その文学をとおして時代と社会を読む作業を、新聞、雑誌類から掘り起こすことで、中国近代文学の一面を明らかにする。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,100,000	0	1,100,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,700,000	180,000	1,880,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：各国文学・文学論

キーワード：中国文学・民初通俗文学

1. 研究開始当初の背景

(1) 日本国内では今日に至るまで鴛鴦蝴蝶

派に関する本格的な研究が行われることはなかった。そのなかでも作品数量が多く、資

料収集が難しいとされる社会小説に関しては、中国・アメリカ・台湾を通じて、未だ詳細な研究が加えられていない。同時に、関連分野における日本国内での先行研究は極めて少ない。社会小説について論じたものに、大村益夫「中国の清末社会小説」(早稲田大学東洋文学会『東洋文学研究』第12、14、15号、1964、1966、1967年)があるが、対象を清末に限っていることなどから本研究と重なる箇所はあまりない。また民初の社会小説では、『留東外史』について留学生小説という観点から考察した論文が幾つかあるほか、言語学や芸能ジャーナリズムの方面から北京社会を描いた社会小説を考察したものが数種見られるのみである。

(2) 資料面に関しては、かつては作品が掲載されていた小新聞や通俗小説雑誌は資料的価値が乏しいとされていたために、現在では当時の文献をそのままの形で眼にすることも難しい。このため、今見ることのできる先行研究は削除部分を含むリプリントのみを参照したものも多く、このような手法を採った場合、研究の幅に制限が生じるのは避けられない。

(3) 社会小説を扱った研究の傾向として、現在では言情小説と合わせた「社会言情小説」という項目の下で論じられるか、もしくは『紅樓夢』や『金瓶梅』などの古典白話小説を含めた広義なものとして捉えるなど、あいまいな定義や手法に拠っている。これらの研究はとかく小説内部の内容や形式に大き

な比重をおいて論じられている。

2. 研究の目的

(1) 当時の社会小説やその作家たちを、新聞、雑誌類の一時資料から掘り起こすことで、従来の通史的な文学研究とは全く異なる近代文学の一面が明らかにする。主に三つの部分、テキスト(なにが描かれているのか)、成立の歴史(どのようにして、だれが成立させたのか)、そして社会、文化的背景(どのように読まれたのか)をそれぞれ取り上げる。近代活字メディア、特に新聞を軸として個々の作品を忠実に読んでいくことで、これまであまり論じられてこなかった近代中国の一面を再考することをねらいとする。

(2) ジェンダーをキーワードとし、社会小説を時代と社会になかに位置付けながら作品の意味を問う作業を行うことで、民国初期の心性をより日常的なレベルから探る。

3. 研究の方法

- (1) 新聞、小新聞、画報類の収集と研究
- ・新聞：『時報』『新申報』(国会図書館附属東洋文庫、上海図書館)
 - ・小新聞：『晶報』『金鋼鑽報』『社会日報』(マイクロフィルム)
 - ・画報：『图画日報』
- (2) 単行本(黒幕小説)の閲覧と研究
- ・『中国黒幕大観』中華図書集成公司、1918

年（東洋文化研究所）

・『上海婦女撃鏡台』中華図書集成公司、1918年（東京大学附属東洋文化研究所および上海図書館）

・その他（北京国家図書館、上海図書館）

4. 研究成果

（1）民国期社会小説研究

同分野における先行研究とその問題点を整理し、民国期社会小説の源流と興隆（清末小説論にみる「社会小説」概念の誕生／定義と発展史）について研究を行った。また、都市文化と出版制度の拡充、作家と作品（年表類の作成）について整理を行った。

（2）黒幕小説の研究

1910年代以降の黒幕小説における女性像について、代表作である『中国黒幕大観』を題材に研究を行った。合わせて新聞ジャーナリズムにおける雑報記事と社会小説の関係、また明治日本の「毒婦もの」との関連性についても検討した。

（3）作品研究

『上海春秋』、『歇浦潮』などの代表作を取り上げ、新聞記事などのジャーナリズムとの関連性、および画報などの通俗メディアとの関連で作品を読み解くことで、フィクションと新聞メディアとの関係性について研究を行った。

5. 主な発表論文等
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計2件）

神谷 まり子 「包天笑『上海春秋』

ニュースの言語から都市の物語へ」国士館大学教養学会『教養論集』、第62号、31～44P、2007年、査読有

神谷 まり子 「黒幕小説の女性像——

『中国黒幕大観』『野草』83号、45～62P、2009年、査読有

〔学会発表〕（計1件）

神谷 まり子 「民国初期スキャンダル小説に見られる女学生像について」

国士館大学外国語外国文化研究大会、2008年11月29日、国士館大学

〔図書〕（計2件）

神谷 まり子 成文堂『政経論叢 政経

学部創立45周年記念号』（国士館大学政経学会編）235～252P、2007年

神谷 まり子 論創社『中国現代女性作家群像』

（南雲智編著）、98～128P、2008年

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

○取得状況（計0件）

[その他]

なし

6. 研究組織

(1)研究代表者

神谷 まり子 (KAMIYA MARIKO)

国土舘大学政経学部経済学科・講師

研究者番号：90407198

(2)研究分担者

(3)連携研究者